

ワイヤレス給電用コイルユニット 極薄型受電用コイルユニットの開発について

- ・ 受電用コイルユニットは TDK 独自のフレキシブルな薄型金属磁性シートを使用し、業界最薄クラスの厚さ **0.57mm** を達成。更に **0.50mm** の開発も開始

2012 年 7 月 9 日

TDK 株式会社（社長：上釜健宏）は、スマートフォンをはじめとしたモバイル機器向けの TDK ワイヤレス給電用コイルユニットを開発したことを発表します。今回開発した、スマートフォン側に搭載するための受電用コイルユニットは業界最薄クラスの厚さ **0.57mm** を達成しました。

受電用コイルユニットには、TDK が得意とする磁性材料技術とプロセス技術を生かし、独自のフレキシブルかつ薄型の金属磁性シートを使用しています。これにより、コイルユニットとしての「薄さ」と「軽さ」を実現できることに加え、従来の特長である耐衝撃性も確保し信頼性の面で大きなメリットがあります。また、コイルも薄型ながら抵抗値の上昇を極力抑えて、厚さが **0.57mm** でありながら送電効率も WPC 規格 Qi 認証に必要な水準を達成でき、スマートフォンへの搭載時に必要となる薄さを特長とした製品となっています。現段階では出力電流は **0.5A～0.6A** 程度ですが、今後さらに、厚さ **0.50mm** がかつ出力電流も同等以上の製品についても開発を開始し、**2013** 年からの量産を目指します。

近年、スマートフォンの多機能化に伴い、消費電力が拡大し、バッテリーの充電頻度が高まっております。いつでも、どこでも充電できるインフラ環境を整えるため、WPC をはじめとした推進団体がワイヤレス給電の標準化を進めています。TDK では、今後増加するこれらの需要に対応すべく、得意とする磁性材料技術とプロセス技術、そして各種コイルの製造で培った精密な巻線パターン技術、さらには磁気回路設計技術を駆使した製品を提供します。

また、TDK が得意とする EMC 対策の提供や、受信感度への影響を最小限にとどめるなどのソリューション技術も提供も目指しています。

用語集

- ・ WPC : Wireless Power Consortium (ワイヤレスパワーコンソーシアム) の略

主な用途

- ・ スマートフォン、デジタルカメラ、Bluetooth ヘッドセット等のワイヤレス給電用

主な特長と利点

- ・ TDK 独自のフレキシブルな薄型金属磁性シートと薄くても抵抗値増大を抑えたコイルの採用により、受電用コイルユニットは業界最薄クラスの厚さ **0.57mm** を達成

生産・販売計画

- ・ サンプル価格：
受信コイル：500 円／ユニット
- ・ 生産拠点：台湾 TDK
- ・ 生産開始：2012 年後半以降（予定）

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。

主な営業品目としては、各種受動部品をはじめ、HDD ヘッドやマグネットなどの磁気応用製品、電源、そしてエナジーデバイスやフラッシュメモリ応用デバイス、FA 関連機器等があります。アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、現在、情報通信機器、コンシューマー製品、自動車、産業電子機器の分野において、電子部品のリーディングカンパニーを目指しビジネスを展開しています。

2012 年 3 月期の売上は約 8,100 億円で、従業員総数は全世界で約 79,000 人です。

本文および関連する画像は http://www.tdk.co.jp/news_center/press/aah88900.htm からダウンロードできます。

報道関係者の問い合わせ先

地域	担当者	所属	電話番号	Email Address
日本	大須賀	TDK 株式会社 広報部	+81 3 5201-7102	pr@jp.tdk.com